

石狩市：「再エネの地産地活・脱炭素で地域をリデザイン」

脱炭素先行地域の対象：石狩湾新港地域内REゾーン、公共施設群

主なエネルギー需要家：【石狩湾新港地域内REゾーン】データセンター等2施設に加え、今後進出する企業施設
【公共施設群】石狩市役所をはじめとした公共施設群5施設

取組の全体像

札幌圏における産業拠点である石狩湾新港エリアにおいて、**太陽光発電設備の導入と地域内の木質バイオマス発電設備を活用**した特定送配電事業によって地域に集積が見込まれる**データセンター群及び周辺施設に再エネ電力を供給**。電力消費の大きい複数のデータセンターの電力を全て再エネ供給し、地域の脱炭素化を図りながら、再エネポテンシャルを地域の優位性とし更なる産業集積を目指す。その他石狩市中心核の公共施設群に**マイクログリッドの構築**等を行いCO2排出実質ゼロと防災機能の実現に向け取り組む。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 石狩湾新港地域内に設置予定の太陽光発電(1,800kW)とベースロード電源となる木質バイオマス発電により発電された電力を**特定送配電事業**により、同地域内に新設予定の**データセンター及び隣接する公共施設(体育館)に供給**
- ② その後も新規電源や近隣の固定価格買取期間が終了した電源を受け入れながら、産業集積の実現と共に順次再エネ供給力を増強。また、水素や大型蓄電池、デマンドレスポンス型需要施設など**自然変動型電源の受け入れに向けた地域調整力機能の拡大**を推進
- ③ 公共施設群5施設において、太陽光発電設備の設置・自家消費を進め、不足分は石狩湾新港地域から供給するための手法を確立。さらに、蓄電池等の設置により**5施設間の電力融通**を行うことを実現し、将来的に再エネ電力の地域での自給率をさらに向上
- ④ 地域の再エネによるグリーン水素のサプライチェーンの構築や木質バイオマス発電所などから生じた熱エネルギーの近隣活用など、**再エネの総合供給効率を向上**



2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 公用車のEV化等とカーシェアリングの実施による運輸部門の温室効果ガスの削減と共に**車載蓄電池を防災活用**
- ② 再エネによる新たな公共交通や再エネの広域送電の実現に向けた検討により、再エネによる**地域課題の解決と共に、再エネの地産地活を推進**

3. 取組により期待される主な効果

- ① 地域再エネの最大限の活用による**再エネの地産地活によるデータセンターを中心とした産業集積の実現、更なる再エネ需要家の新規立地を推進**
- ② 市庁舎を中心とした公共施設群の脱炭素化を実現すると同時に、公用車の脱炭素化を実現しながら、**レジリエントな行政機能を実現**
- ③ 電力の貯蔵・平準化として、**大型蓄電池の導入及び水素製造の導入による地域調整力の確保**により、再エネの地域活用の拡大を推進
- ④ **地域の脱炭素と公共交通の実現をセクターカップリング**により実現し、地域の活性化を図る

4. 主な取組のスケジュール

